

ROS1 融合遺伝子		P000032		
		担当部署		
ROS1		病理		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		該当なし		
オーダーリング手順	1	サイボウズ→ファイル管理→54. 病理診断科→遺伝子解析依頼申請書→		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		1) 10%中性緩衝ホルマリンの固定時間が6時間未満 48時間以上 2) 未染スライドで6週間以上放置されていたもの 3) コーティング加工がされていないスライドガラス 4) 細胞診材料は採取後2時間以内に凍結		
検査受付時間		8:15~16:00		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。		
検体採取の特別なタイミング		治療前		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	パラフィン切片	容器番号 20 プレパラート	無	5 枚
2	未染スライドガラス	容器番号 30 遺伝子検査用標本スライド容器	無	5 枚
3	組織 4mm角	容器番号 27 滅菌スピッツ管		50 g
4	穿刺液(胸水、腹水、心嚢液)			沈渣物を-70℃以下で冷凍
5	気管支洗浄液から採取した沈渣物			沈渣物を-70℃以下で冷凍
6				

7					
8					
検体搬送条件		室温、冷凍			
検体受入不可基準		オーダーがない。			
保管検体の保存期間		パラフィンブロック：半永久 * 保管検体から再検査をオーダーする場合は要連絡			
検査結果・報告					
検査室の所在地		病院棟 3 階 病理診断科			
測定時間		4～7 日			
生物学的基準範囲		検出せず			
臨床判断値		ROS1 融合遺伝子を検出します。			
基準値				単位	該当なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因		該当なし			
臨床的意義		ROS1 融合遺伝子とは、ROS1 の全チロシンキナーゼドメインとパートナー遺伝子の一部が融合して形成される融合遺伝子で、非小細胞肺癌・胆管癌・胃癌・卵巣癌など様々な癌で確認されており、染色体再構成によって活性化されています。本検査は、本融合遺伝子の検出を行い、切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌の患者に対し、クリゾチニブの適応判断の補助に用いられます。			